長洲町立長洲小学校　校長便り　No.１２０

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和５年９月２８日(木)

明日は「中秋の名月」

「兎、兎、何見て跳ねる
十五夜　お月さん　見て
跳ねる」

ここ数日は気温が落ち着いているせいか過ごしやすく感じています。明日、２９日は中秋の名月が見られますよ。各ご家庭でお月見を計画されているところもあるかもしれませんね。

ちょっと知らべてみました。十五夜とは旧暦の毎月１５日目の夜のことをいうそうです。単に十五夜といった場合は、「中秋の名月」を指すことが多いそうですが、「中秋の名月」は旧暦８月１５日の夜に見える月のことを指しますので、言い換えると、十五夜は毎月に来るもので、中秋の名月は年に一回だけという違いがあるということでした。

ということは、明日の満月は年に１回の特別の月だということです。これは見るしかない！　ススキや団子をお供えする習慣が残っていますね。この頃に収穫される里芋をお供えすることから、地方によっては「芋名月（いもめいげつ）」とも呼ばれているそうです。収穫の秋ですから、何でもお供えできそうですね。私はといえば、お月見にかこつけて少々お酒の量が増えてしまいそうです。読者の皆様も飲み過ぎにご注意を！

働き方改革に寄せて

保護者の皆様にも働き方改革の波は押し寄せているはず？ですよね。私達教師の世界も然りです。

さて、私はどのように働き方改革に取り組んでいるか紹介します。

①目標から逆算する
②完璧を目指さない
③問題を予測する
④健康と自分の時間を大切にする

今のところ、この４点です。

①の目標から逆算することは、重要です。３ヶ月ほどの間に何をしなければならないかを洗い出し、何をどのタイミングでスタートすればよいかを判断します。これにより仕事が複線化され、無駄な時間が少なくなります。もちろん「残業ありき」ではなく、定時退勤が目標です。

②の完璧を目指さないということはケースバイケースです。完璧が当然のものもありますが、そうでない事務仕事等は「８割」でいいと思います。８割でいい仕事に無駄に時間を費やすことは、働き方改革とは逆路線です。

③の問題を予測することについては、起こり得る問題を予測し、未然防止を狙った取組です。怪しいなと思ったら先に手を打つ、教育現場では大切なことです。

④については皆さんも大切にしていることではないでしょうか。私はというと、自分の時間を大切にするばかりに家族との時間が少々少ないかもしれません。この点は反省です。働き方改革、何か心がけていることがあれば教えてください。

シリーズ「自分を語る」#１２０

私はナイトハイクの感動のシーンを何度となく見てきました。そして、つくづく思います。やってよかったと。この年は私にとって担任としての最後の年ですので、ナイトハイクもファイナルでした。折角ですので、以下、保護者の皆様の感想を紹介します。

Aさん

ナイトハイクは、班員の協力があってこそ成し遂げられたのだと思います。また、親自身も、家庭以外での我が子の状況を見ることができて、これもまた、集団だからこその意味深いものでした。集団の中で自身がどのように行動したらいいのか考えながら一歩一歩歩いてくれたと思います。ゴールにたどり着くまで様々なドラマが展開されるも、一人一人の力を見せつけてくれました。これから先、子供達が挫けそうなときには、ナイトハイクで学んだ、「他人を思いやる気持ち」と、「辛抱強く続けていれば成し遂げられる粘り強さ」を武器にして、成長していってほしいと願っています。

Bさん

ナイトハイクは自分への挑戦もあり参加しました。３年前に足の手術をしたので完歩できるか不安でしたけど、無事に完歩できました。親子そろっての参加は最初で最後と思い参加しました。参加して本当に良かったです。最初は子供達も元気で足も軽やかだったけど、２０㎞過ぎた時点から、だんだん口数が少なくなり、「みんなきついんだなぁ。」と思っていました。とにかく、最後はみんな気力で歩き通しましたね。子供達も一人としてリタイアすることなく、全員でゴールすることができ、みんなに大きな拍手を贈りたいと思います。終了後、みんな精神的に一回り大きくなったんじゃないかと思います。仲間と一緒に何かをやり遂げる、子供達は大切なことを学んだと思います。そして、小学生最後の大きな思い出になったのではないかと思います。

Cさん

ナイトハイク、実際のところ想像もつかないような距離で、娘から聞いたときは、軽く「参加しようかな。」と言ったものの、日に日に不安になってきました。が、学級便りにも書いてあった先生の思い、保護者の皆さんとの綿密な打ち合わせが、私の気持ちを徐々に変えていったと思います。目標をもってそれに向かって努力すること、一歩一歩前進することの大切さが少しでも分かってほしいと、当日祈りました。痛い足を引きずる男の子、気分が悪くなっても歩き続ける子、みんな諦めずに歩いていた姿が、とても誇らしかったです。かっこよかった！　そして誰もリタイアせず、感動しました。子供達のこのような達成感を味わわせて頂き、支えて下さった方々へ心より感謝申し上げます。

それぞれに様々な感想を私に伝えてくださった、そして支援して頂いた保護者の皆様に感謝しかありませんでした。その年も無事にナイトハイクが終わり、実りの多い濃密な時間を過ごしました。私は断言できます。この様な行事（辛さやきつさを乗り越えて目標を達成する取組）は、学級に強い結束をもたらし、更なる高みを目指す向上心も育みます。この時担任させて頂いた子供達は今年２４歳になります。酒を酌み交わすことが出来る年齢になっている訳です。毎回、同窓会の時は私に対して、担任当時抱いていた気持ちや今頑張っていること等を聞くことができ、中々に面白い時間です。

こうしているうちに１年が終わりました。ここで想定外の動き…!?　（つづく）

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の　可　・　不可　）